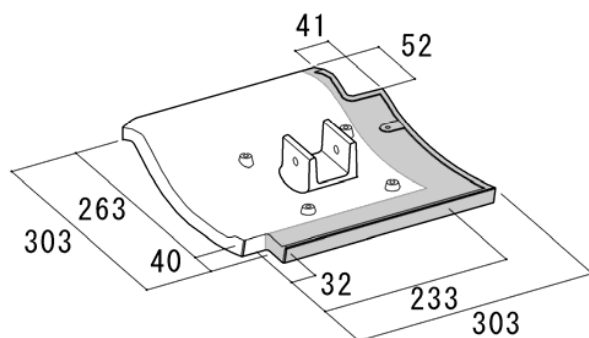


Specification [仕様]

2-1 | 主要部品参考図及び寸法図 支持瓦の寸法図

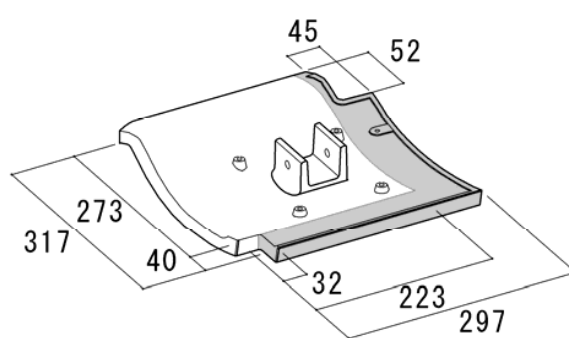
○支持瓦 A

J形棧がわらに対応
(JIS A 5208 に記載の J 形 53A)



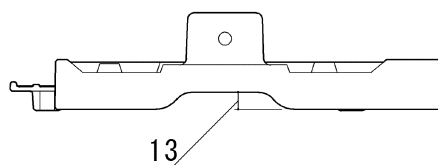
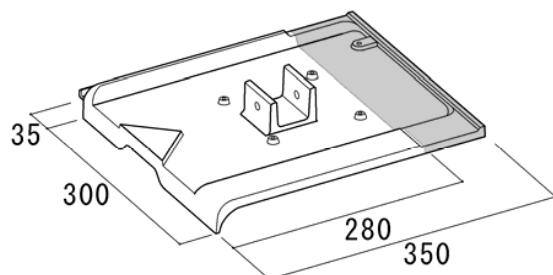
○支持瓦 B

J形棧がわらに対応
(JIS A 5208 に記載の J 形 53B)



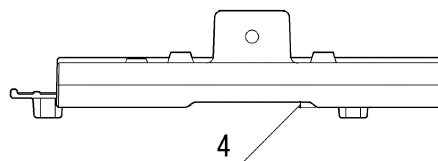
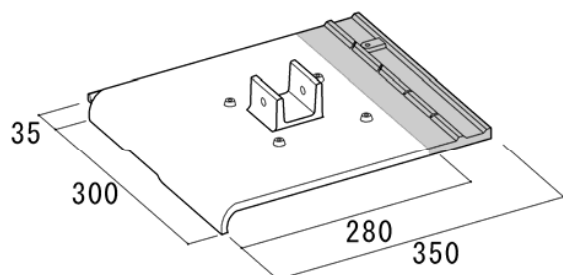
▪ 支持瓦 C

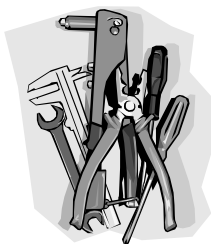
平板瓦 F形棧がわらに対応 (P. 8 支持瓦 C・D 適合表を参照)
(JIS A 5208 に記載の F 形 40)



▪ 支持瓦 D

平板瓦 F形棧がわらに対応 (P. 8 支持瓦 C・D 適合表を参照)
(JIS A 5208 に記載の F 形 40)





Specification〔仕様〕

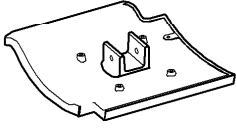
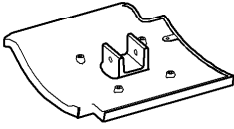
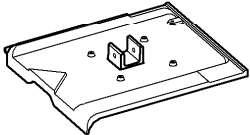
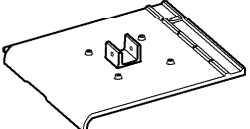
2-2 | 主要部品参考図及び寸法図 支持瓦 C・D 適合表

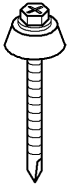
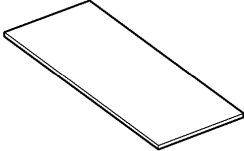
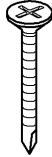
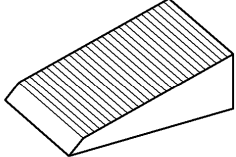
メーカー名	製品名	支持瓦
井野瓦工業(株)	ルーフタイル S-40	D
	ルーフタイル F-40	D
(株)岩福セラミックス	クレストⅡ	C
近畿セラミックス(株)	セラブライト	D
(株)三州石川	ロアール F A	D
	洋瓦ロアール40	C
	ロアールサミット	C
新東(株)	セラム F-1	C
	セラム F-2	C
	セラム F-3	D
千田瓦工業(株)	OLAS (オラス) 40	D
	OLAS (オラス) NEO	D
(株)ダイトー	シンプル U-40	C
	シンプル F-40	D
	リーベ F-40	D
	アースティ・40	D
(株)鶴弥	スーパートライ110 タイプⅠ	C
	スーパートライ110 タイプⅡ	D
(株)ティーアールティー	シーファーセラ40	D
東洋瓦工業(株)	アーバン40	D
	フレンチ40	C
	ウェーブ40	C
野安製瓦(株)	CERA・STONE (セラ・ストーン)	D
	CERA・FLAT (セラ・フラット)	C
平和窯業(株)	ピース・ワン	C
丸栄陶業(株)	ローマン L L 40-R	D
	ジュテイル L L 40	D
マルスギ(株)	イーグル40	C
	イーグルフラット	D
緑窯業(株)	ナイス・ザ・サミット	C
	ナイス・ザ・フラット	D
宮政瓦工業(株)	ロアール洋瓦40	C
	ミヤフラット MF-40	D
	ミヤフラット UC-40	C
	リバーウィング100	D
	リバーウィング200	D

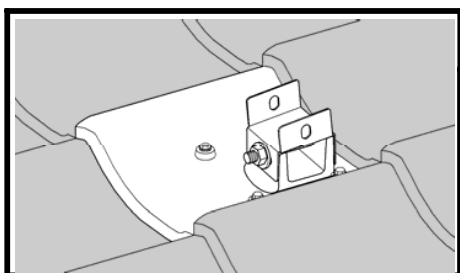


Specification〔仕様〕

2-3 | 主要部品参考図及び寸法図 パーツリスト

製品名	支持瓦 A	支持瓦 B	支持瓦 C	支持瓦 D
材質	アルミダイキャスト	アルミダイキャスト	アルミダイキャスト	アルミダイキャスト
製品図				

製品名	専用ねじ	ベース補強板	ベース補強板ビス	クサビ
材質	ステンレス	構造用合板	ステンレス	ポリプロピレン
製品図				



Support Unit〔支持瓦設置〕

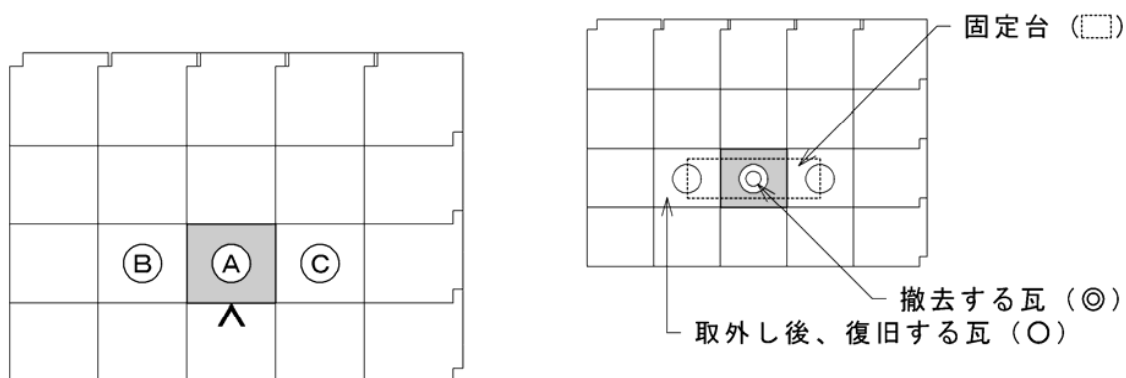
5-1 | 瓦の撤去

※既設屋根の場合は、瓦の撤去が必要です。

支持瓦の設置場所と瓦の外し方（和瓦・平板）

■和瓦の場合

支持瓦取り付け位置にある既存の棧瓦の撤去は、下記の手順によります。



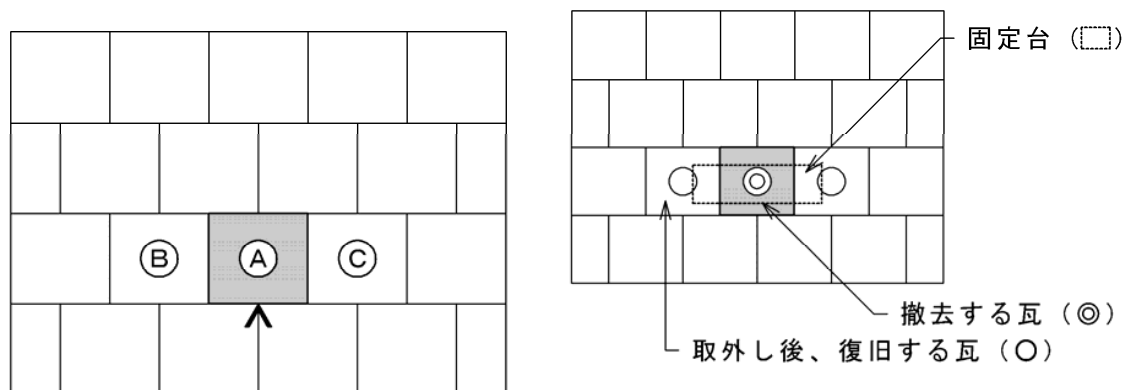
①支持瓦取り付け位置の下段の棧瓦にマーク（△）をチョーク等でつけます。

②棧瓦を「C」「A」「B」の順に外します。

外した棧瓦は、屋根上からの落下に注意して安全な場所に保管して下さい。

■平板瓦の場合

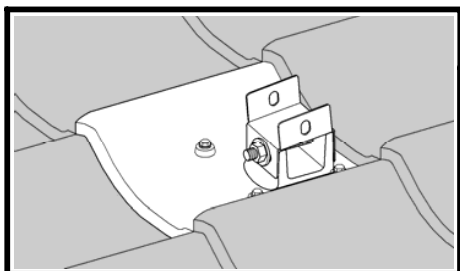
支持瓦取り付け位置にある既存の棧瓦の撤去は、下記の手順によります。



①支持瓦取り付け位置の下段の棧瓦にマーク（△）をチョーク等でつけます。

②棧瓦を「C」「A」「B」の順に外します。

外した棧瓦は、屋根上からの落下に注意して安全な場所に保管して下さい。



Support Unit〔支持瓦設置〕

5-2 | ベース補強板

※新築屋根の場合は、瓦葺き工事と同時に行っていきますので、
施工者と打ち合わせをした上で作業を進めて下さい。

- ①施工図（支持瓦配置図）に基づき、下葺き材にチョーク等で大きく○印等のマークをつけます。
- ②ベース補強板を支持瓦の中央で、上の瓦棧木の上端から 60 mm（和瓦の場合）の水下側に瓦棧木と平行に置きます。（平板瓦の場合は、80mm です。）

注 意

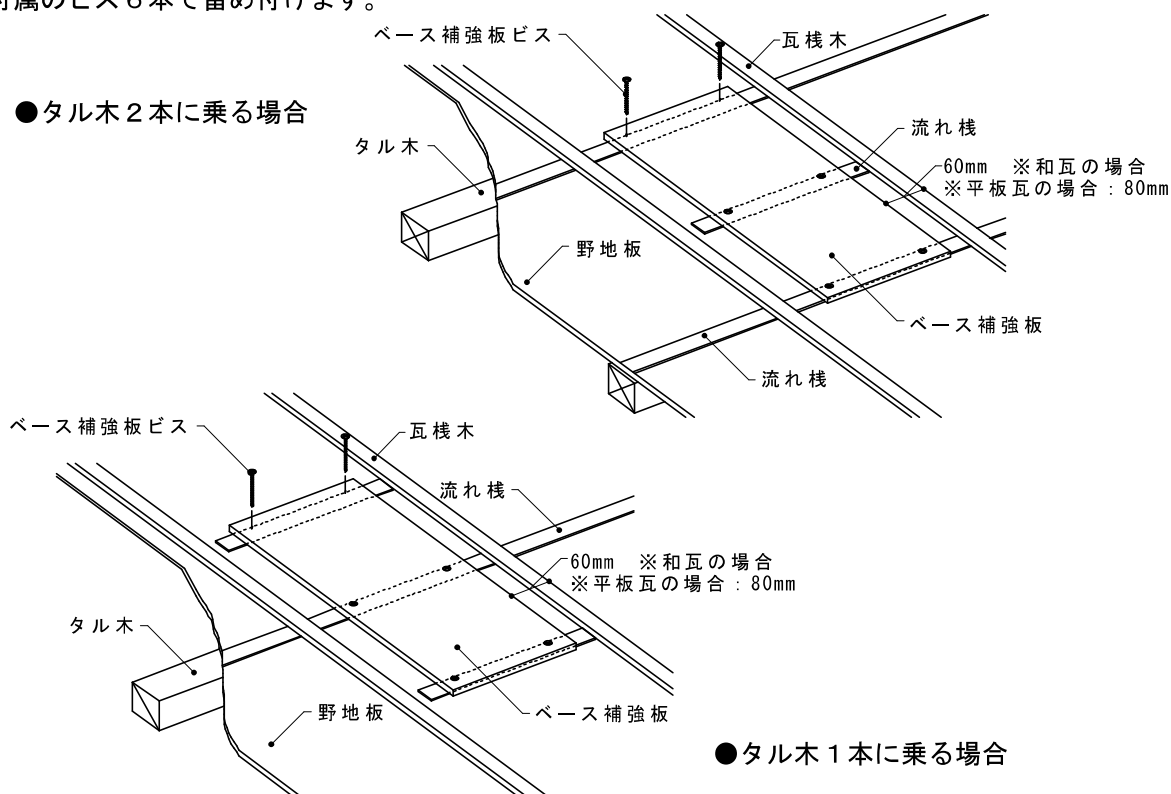
ベース補強板の位置は和瓦と平板瓦の場合で異なります。注意して下さい。

『和瓦：60mm』

『平板瓦：80mm』

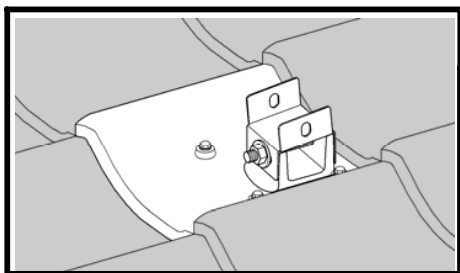
- ③付属のビス6本で留め付けます。

●タル木2本に乗る場合



●タル木1本に乗る場合

図の様に、ベース補強板がタル木2本に乗る場合は、中央部もビスで留め付けます。
この時、ベース補強板と野地板の間に流れ棧の切れ端（16cm 程度）を挟み込みます。
流れ棧は基本的にタル木の上に取付けますから、ビスは流れ棧の中の中心に留め付けます。
留め付け後はネジ頭の浮きがないか確認して下さい。
ビスは2本ずつ計6本留め付けます。
ベース補強板がタル木1本に乗る場合は、両端に流れ棧の切れ端を挟み込み留め付けます。
中央部は、必ずタル木に留め付けて下さい。



Support Unit〔支持瓦設置〕

5-3 | 支持瓦設置

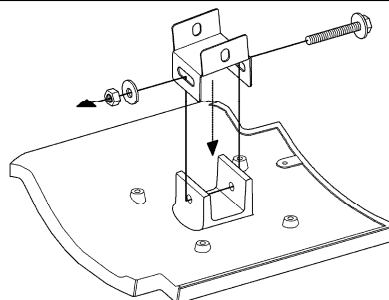
※新築屋根の場合は、瓦葺き工事と同時に行っていきますので、
施工業者と打ち合わせをした上で作業を進めて下さい。

注 意

支持瓦の左右に葺く棧瓦はクサビを左右から差し込む為、支持瓦取り付け後葺いて下さい。

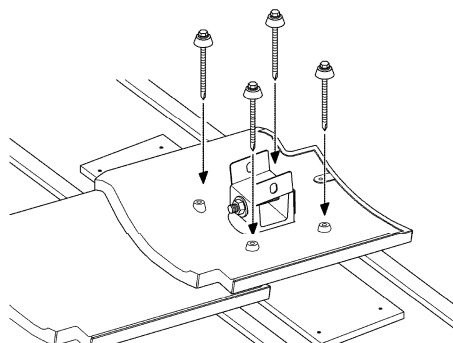
〔地上作業〕

- ① 支持瓦と下固定金具の仮固定
各支持瓦に下固定金具をボルトM8-80・
M8ナット・ワッシャーで仮固定します。



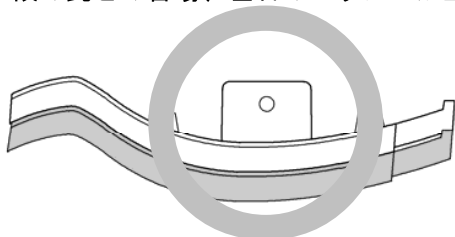
〔屋根上作業〕

- ② 支持瓦の設置
 - ①最下段の支持瓦の下段まで棧葺きをします
 - ②施工図の支持瓦配置に従って支持瓦を置き、
専用ネジ×4本と尻釘×1本（ステンレス
釘・現場調達）で仮留めします。

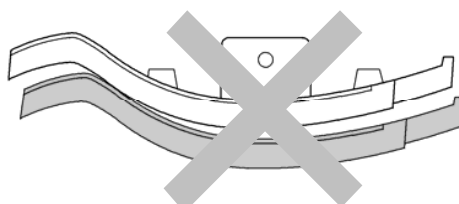


※仮留めする前に以下の点を確認して下さい。

- ・瓦棧木の墨に対して支持瓦の縦の線が直角であること。
- ・引掛爪が、瓦棧木に正しく引っ掛かっていること。
- ・下段の瓦との合場、左右のバランスが正しく納まっていること。

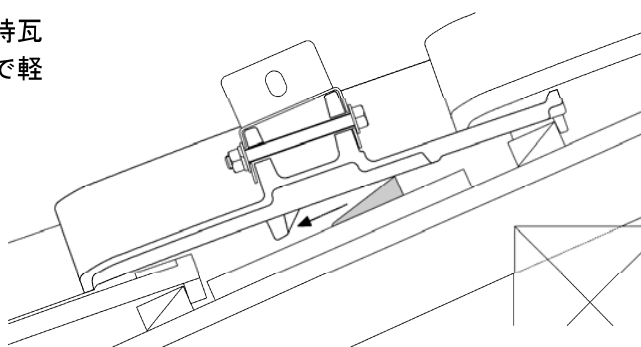
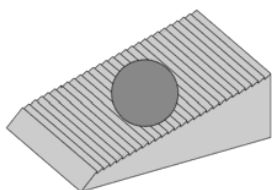


支持瓦と棧瓦が正しく納まっている



支持瓦と棧瓦が正しく納まっていない

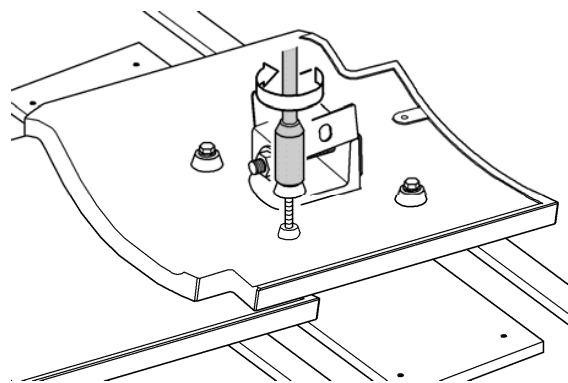
- ④クサビ上部の真中あたりに接着剤をつけて、支持瓦の横から固定脚の下に差込み、ハンマーの柄等で軽く叩いて固定します。
接着剤は、10円玉の大きさを目安にします。



④仮固定した専用ネジを本締めします。

※+ビット(H形2番)又は、ソケットビット
(対辺8mm)を使用して下さい。

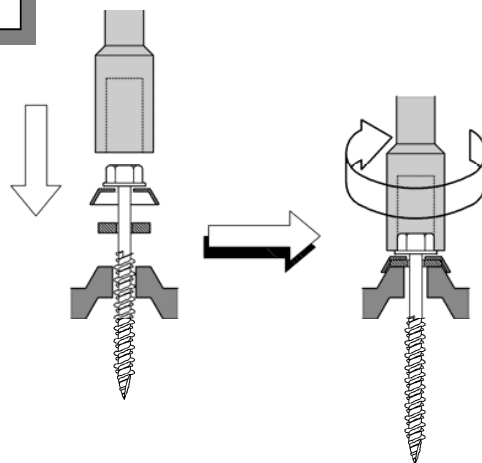
⑤支持瓦の設置完了後、左右の瓦を葺きます。
通常通りに、棧瓦を葺き、施工完了です。

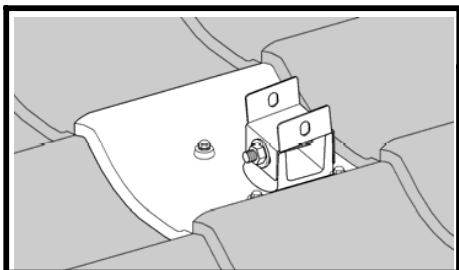


注 意

専用ネジは締め過ぎないようにご注意ください。
締めすぎますと周囲の瓦を破損する場合があります。

締めすぎ防止の目安は、専用ネジを締めていくと
Rワッシャーが
パッキンによって回転がなくなるまで、締め付けて
下さい。





4 | Support Unit [支持瓦設置]

5-4 | 支持瓦設置（2 段目以降）

- ①長さ：1. 2 m程の定規（現場調達 瓦棧木等）を用意します。
- ②用意した定規を用いて、縦の通りを出して下さい。
支持瓦の通りが3 mm 以内の施工管理をして下さい。
- ③支持瓦の通りを確認後、「3-3 | 支持瓦設置（P. 3～P. 4）」に従って支持瓦を設置して下さい。

